

# 令和8年度 学校運営

## 1 学校教育目標

「心豊かでたくましく、実践力のある子供の育成」

### ◇目指す子供像

- |                         |  |
|-------------------------|--|
| ・ <b>か</b> んがえる子 (知)    | 自分の考えをもち、伝え合い、主体的に学ぶ                                   |
| ・ <b>か</b> んばる子 (体)     | やってみたい、目標をもち、自分を高める                                    |
| ・ <b>や</b> さしい子 (徳)     | 進んで挨拶、あったか言葉をつかう                                       |
| ・ <b>き</b> ょうりよくする子 (徳) | 自分も周りの人も思いやる、大切にする<br>仲間と一緒に最後までやり抜く<br>ふるさとを愛し社会に貢献する |

### ◇目指す教師像

- ・ 確かな指導力をもつ教師
- ・ 教育に対する情熱と豊かな人間性をもつ教師
- ・ 一人一人の子供を大切にする教師
- ・ 子供の成長を喜び、子供とともに学ぶ教師
- ・ 協働し、組織的に動く教師

### ◇目指す学校像

- ・ **あ**いさつ、あったか言葉が響き合う学校
- ・ **い**のちを大切にする学校
- ・ **う**美しい心 美しい学校
- ・ **え**笑顔あふれる学校
- ・ **お**思いやりの輪が広がる学校

## 2 重点目標

仲間と関わり高め合う児童の育成～「心が動く」授業の創造～

## 3 学校運営方針

### (1) 子供にとって、子供自身が学びたいと思う**楽しい学校**づくり

- ・ 「とやま型学力向上プログラム(Ⅲ期)」 「射水スタンダード」 「ちょいテク」等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた伝え合う場の工夫
- ・ 基礎的・基本的な学習内容の定着 (モジュール時間の活用)
- ・ 学習者用端末やデジタル教科書、大型モニタ等、ICT機器の積極的な活用
- ・ 学び合いの成果が実感できる振り返りの充実
- ・ 体力カードやWEBアプリ「とやま元気っ子チャレンジ」の活用
- ・ 自主的・実践的な特別活動や異年齢集団活動の推進
- ・ 友達のよさを生かし、思いやりのある行動ができる子供の育成

### (2) 保護者にとって、保護者が学ばせたいと**信頼できる学校**づくり

- ・ 明るい挨拶の定着とあったか言葉・あったか家族の取組推進
- ・ 生命と人権を大切にする教育の徹底と豊かな心を育てる道徳教育の充実
- ・ 特別な配慮を必要とする児童に対する支援の充実
- ・ 一人一人のよさや違いを認めるとともに、自尊感情を高める場の設定
- ・ 家庭との連携による基本的な生活習慣(早寝、メディアの制限等)の定着
- ・ 日々の生活や発災時に安全に行動する能力や態度の育成と、その環境づくり

### (3) 地域にとって、我がまちの誇りとして、**支援したくなる学校**づくり

- ・ 郷土の誇りと愛着を育む「ふるさと学習」と「地域行事への参加」の推進
- ・ 各種たより、あんしんメール、ホームページ等による積極的な情報発信
- ・ 幼・保・中及び地域、各種団体等ネットワークを活かした連携や交流
- ・ 学校運営協議会での情報交換、学校支援ネットワークの充実

### (4) 職員にとって、豊かな発想を生かし、**働きがいのある学校**づくり

- ・ チームワーク、フットワーク、ライフワークを大切にした学年・学校運営
- ・ 校内研修、幼保小接続事業を通じた研修の充実
- ・ 教科担任制導入に向けた体制整備と働き方改革の推進